



参考値出典：平成 28 年（2016）医療施設（動態）調査 病院報告の概況 表 5 病院の平均在院日数（東京都）

■ 平均在院日数は 3 か年連続で減少

平均在院日数は 2016 年度中に入院した全ての患者さんが治療から退院までに要した平均の日数を示しています。2016 年度は前年度より 0.3 日間短縮致しました。

平均在院日数が短ければ短い程、病床の回転率が高く病床の有効利用が出来ていると考えられます。入院中から多数の医療職種がチームとなって退院支援を行う事でご自宅や施設への早期復帰を可能とし、その分、空いた病床で救急患者の受け入れや他に治療を要する患者さんの受け入れが可能となります。

ベッドコントロールを専属して担う事務職員を配し、入院要請に速やかに応えると同時に治療を終えた患者さんを速やかにかかりつけ医に紹介できる事が平均在院日数の短縮につながっております。